

令和元年度進行管理・評価シート
下田市歴史的風致維持向上計画（平成30年11月13日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		2
2 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		3
3 重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(屋外広告物法)		4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業		5
2 下田市景観まちづくり条例助成事業		6
3 玉泉寺周辺整備事業		7
4 市道大川端通線周辺整備事業		8
5 旧下田町道路美装化事業		9
6 蓮台寺温泉環境整備事業		10
7 下田公園環境整備事業		11
8 下田太鼓祭りプロモーション事業		12
9 太鼓台整備助成事業		13
10 姉妹都市(ニューポート)交流事業		14
11 下田市青年就農給付金給付事業		15
12 天草漁業従事者育成事業		16
13 旧下田町環境整備事業		17
14 歴史文化資源回遊性向上事業		18
15 郷土学習総合推進事業		19
16 下田市歴史文化情報発信推進事業		20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、保存管理(活用)		21
2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練		22
3 文化財の普及・啓発、団体との連携		23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		24
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史文化、まちに対する再認識		25
2 地域の活性化と観光振興		26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		27
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		令和元年度
項目	現在の状況	
計画の実施体制	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に関わる建設課と生涯学習課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、下田市歴史的風致維持向上協議会（計画認定後に名称変更予定）と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、下田市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
建設課と生涯学習課を中心としながら、各事業担当課との連携を図ることにより計画を実施している。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<pre> graph TD A["<国> 文部科学省 農林水産省 国土交通省"] B["<静岡県> スポーツ・ 文化観光部 交通基盤部"] C["下田市 ＜事務局＞ 建設課、生涯学習課"] D["下田市 歴史的風致維持向上協議会"] E["下田市 文化財保護審議会"] F["下田市 都市計画審議会"] G["下田市 景観まちづくり審議会"] H["下田市 ＜庁内関係課＞ 統合政策課、防災安全課、 観光交流課、産業振興課、 建設課、生涯学習課、 学校教育課、教育委員会 など"] I["市民、文化財所有者、関係団体"] A -- 協議 --> C B -- 助言支援 --> C C -- 協議調整 --> D C -- 報告 --> E E -- 助言 --> C C -- 協議調整 --> F C -- 報告 --> G G -- 助言 --> C C <--> 協議 調整 I </pre>		

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(都市計画法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

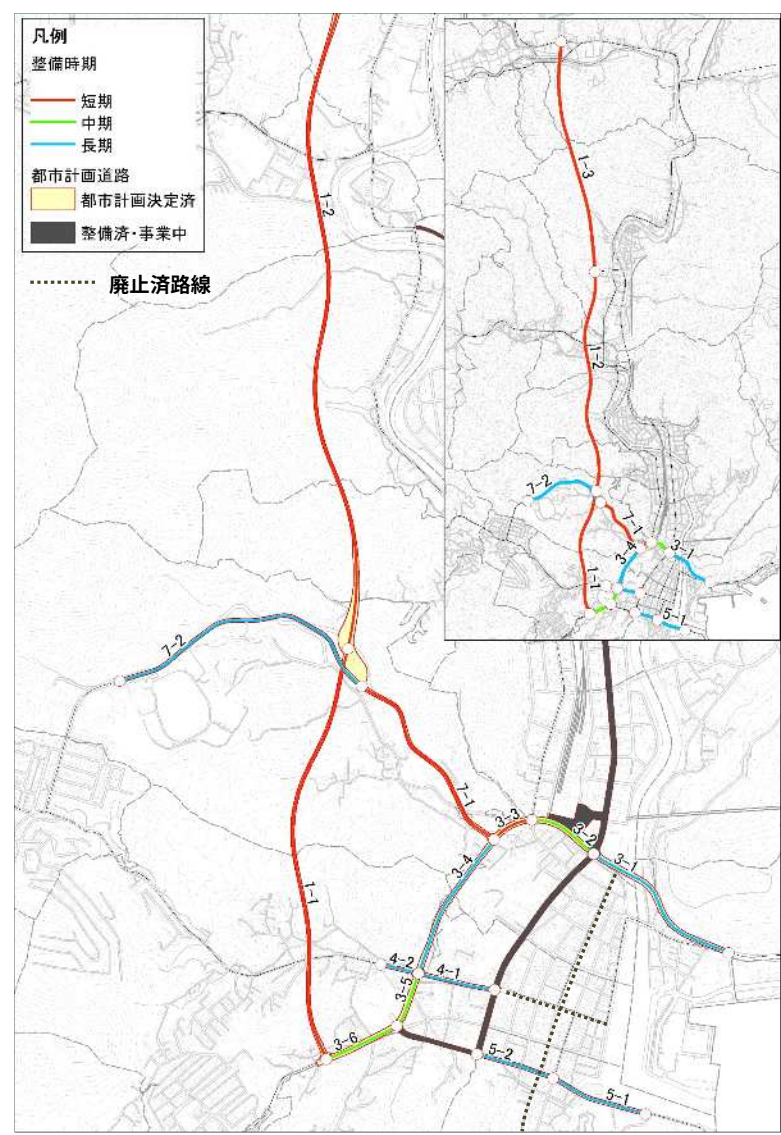
計画に記載している内容
本重点区域は、まどが浜海遊公園や柿崎弁天島などの一部を除き、ほぼ全てが用途地域内であり、このような現行の用途地域区分に基づき、適切な土地利用を誘導することにより、中心市街地としての都市機能の集積と良好な居住環境の形成との両立を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に、重点区域となるまちなかの一部の都市計画道路を廃止し、江戸初期からの町割りに手を付けないこととした。代わりに、外周部を都市計画道路として新規都市計画決定を行った。平成31年4月には、「下田市都市計画道路整備プログラム」を策定して、新規都市計画決定区間の用地交渉を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



都市計画道路整備プログラム

区間 番号	路線 番号	路線名
1-1	1・6・1	伊豆縦貫自動車道(1)
1-2	1・6・1	伊豆縦貫自動車道(2)
1-3	1・6・1	伊豆縦貫自動車道(3)
3-1	3・4・3	武浜横枕線(1)
3-2	3・4・3	武浜横枕線(2)
3-3	3・4・3	武浜横枕線(3)
3-4	3・4・3	武浜横枕線(4)
3-5	3・4・3	武浜横枕線(5)
3-6	3・4・3	武浜横枕線(6)
4-1	3・5・4	山岸岩下線(1)
4-2	3・5・4	山岸岩下線(2)
5-1	3・5・5	下田港横枕線(1)
5-2	3・5・5	下田港横枕線(2)
7-1	3・6・7	敷根公園線(1)
7-2	3・6・7	敷根公園線(2)

都市計画道路一覧

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み(景観法)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本重点区域は、旧町内ゾーンと下田港周辺ゾーン、一部に海岸線ゾーンが設定されている。今後は、景観形成施策と歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等に関する事業推進の両輪で歴史的風致の維持向上を進めることを基本とし、下田市景観まちづくり条例に基づく景観重点地区の指定を進めていくとともに、歴史的風致と調和した良好な住環境の形成と美しく品格のあるまちづくりを進めていくため、旧下田町内においては、建築物の高さ制限などについて検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「下田市景観計画」に基づき、一定の建築行為に対し、良好な景観を守るために規制誘導を行った。 届出実績:8件 うち、重点区域:0件(令和元年度)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		ペリーロードの景観重点地区の指定を目指しているが、住民合意が得られていないことから、引き続き説明、話し合いが必要である。	
状況を示す写真や資料等			
		重点区域内における景観誘導ゾーンの方針内容	
		旧町内ゾーン	- 下田太鼓祭り・黒船祭などの伝統的な祭り・行事を後世に引き継いでいく。 - 下田の歴史を伝えるなまこ壁・伊豆石造りの建造物や神社・仏閣等を大切にする。 - 下田太鼓祭りの舞台にふさわしいまちなみを形成する。
		下田港周辺ゾーン	- 開国にまつわる資源を大切に、開国の港としての演出を図る。 - 港の借景となっている自然や緑を守り、大切にする。 - 歴史性を重視し、落ち着いたある海辺のまちなみを形成する。
		海岸線ゾーン	- 白い砂浜、美しい海岸をきれいに保つ。 - 海岸線のハマユウ、野水仙、ハマボウなどの自生地等を守る。 - 特長ある漁村の風景を維持する。 - 海辺の景観や周囲の自然景観を阻害することなく、海辺のまちのにぎわいが感じられるまちなみを形成する。
景観誘導ゾーンと重点区域(拡大)			
重点区域内における行為の制限に関する事項(届出対象行為)			
行為の種類		届出を要する規模	
建築物	建築物(沿道型商業施設を除く)	高さ10m超又は延床面積300㎡超	
	沿道型商業施設	敷地面積300㎡超又は延床面積150㎡超	
工作物	・鉄筋コンクリート造の柱、鉄柱・木柱類	高さ15m超	
	・送電鉄塔類	高さ15m超	
	・煙突類	高さ6m超	
	・記念塔類	高さ4m超	
	・高架水槽、サイロ、物見塔類	高さ8m超	
	・エレベーター類、遊戯施設(コースター等)、製造施設、貯蔵施設類	高さ10m超又は築造面積300㎡超	
	・擁壁	高さ2m超	
	・法面、垣、柵、塀類	高さ2m超	
	・高架道路、高架鉄道、橋梁類	幅員10m超又は高さ3m超	
	・索道施設(ロープウェイ等)	高さ13m超	
	・太陽光発電設備・風力発電設備類	高さ10m超又は設置面積300㎡超	
開発行為(宅地造成)		面積1,000㎡超	
土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘削その他の土地の形質の変更		面積1,000㎡超	
屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積		敷地内の堆積面積の合計1,000㎡超又は堆積の高さ3m超	

評価軸②-3

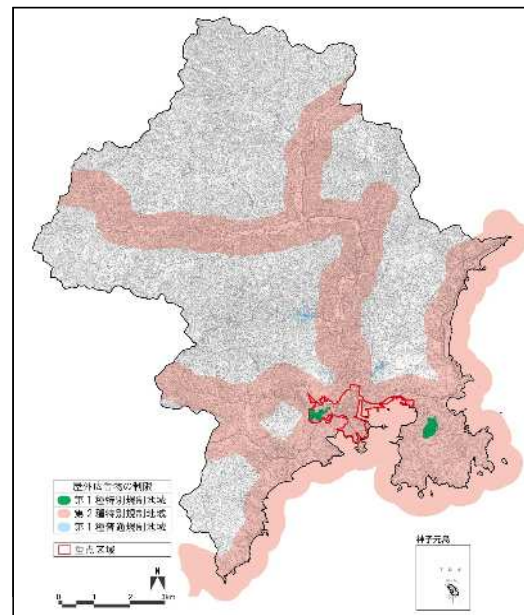
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み（屋外広告物法）		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	本市における屋外広告物の表示及び掲出については、屋外広告物法に基づく静岡県屋外広告物条例により規制誘導されている。屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、良好な歴史的風致の維持及び向上を図るため、下田市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
・「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物の設置に対して許可申請を実施することで、適正な色彩、規模等へと規制・誘導を行った。 新規許可申請件数：4件、更新許可申請件数：14件（令和元年度） ・無許可屋外広告物の撤去や改善を図るため、文書などによる指導を実施 指導是正件数：8件（令和元年度）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



改善事例1（前・後）



屋外広告物規制図と重点区域



改善事例2（前・後）

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年度～令和4年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物を後世に残すため、必要に応じて現況調査、維持管理や活用についての検討、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定をし、修繕の助成を行い、建造物の保存を進めた。 歴史的風致形成建造物指定(令和元年度):実績2件/対象物件10件 歴史的風致形成建造物修繕助成(令和元年度):実績2件/対象物件10件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



指定番号No.1雑忠(なまこ壁修繕)

指定番号No.2土藤商店(外壁看板)
(腐食が進行しないよう再塗装)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
下田市景観まちづくり条例助成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成21年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する歴史的建造物のうち、下田市景観まちづくり条例に基づく登録まち遺産である建造物を後世に残すため、必要とされる修繕、活用に向けた費用を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
登録まち遺産へ修繕のための助成を行い、市内歴史的建造物の保存を行った。 登録まち遺産助成件数(令和元年度):実績4件(うち歴史的風致形成建造物2件)／対象物件15件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



安直楼(登録まち遺産指定番号4)

屋根瓦修繕



田中邸(登録まち遺産指定番号14)

なまこ壁・石壁修繕

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
玉泉寺周辺整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	玉泉寺周辺において、道路修景といった歴史あるまちなみと調和した空間の整備や、駐車場整備といった環境整備を行うことにより、玉泉寺周辺の賑わいを取り戻し、良好なまちなみ環境の形成を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
未着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	玉泉寺において新たに個人負担で駐車場が整備された。 地区全体の環境整備における課題の整理、方針がないため、まずは計画を定めてから、具体的事業について定めていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-4

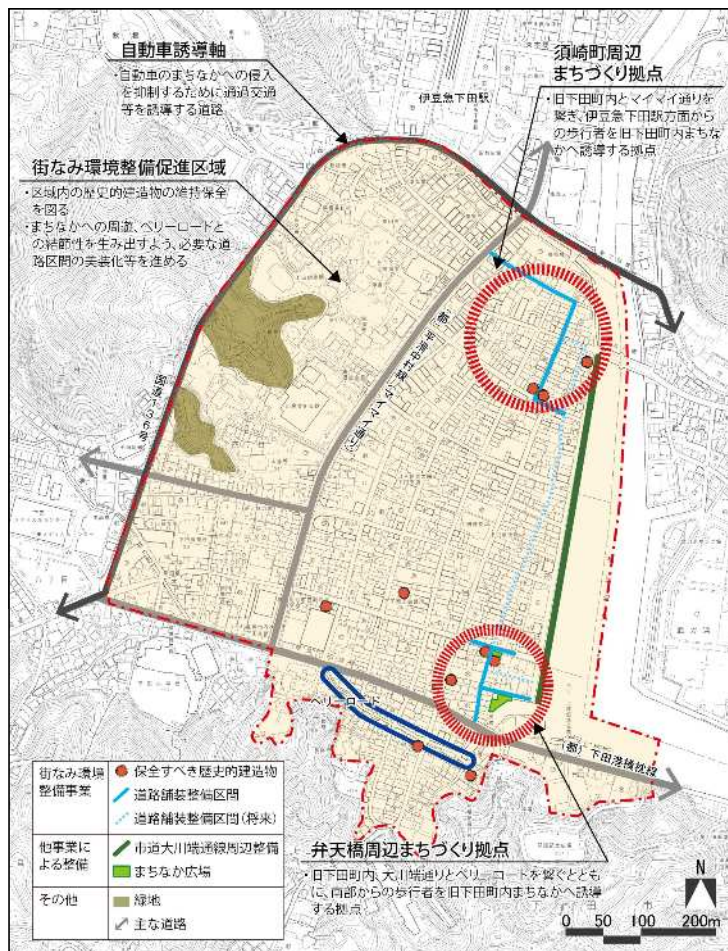
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
市道大川端通線周辺整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	市道大川端通線周辺において、歴史あるまちなみ及び稲生沢川と調和した空間の整備を図るため、道路東側の物揚場の修景舗装、休憩施設の設置等の再整備を行い、良好な景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現況測量、デザイン案を作成し、学識経験者、関係者、地元と、市道大川端通線周辺における良好な景観形成を図るべく、デザインレビューを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	デザインレビュー後、基本計画(案)を策定、さらに関係機関との協議を行い、実施設計、工事着手へと進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
 現況写真(河岸端と市道)  デザイン案(1)  デザインレビュー(第1回)  デザインレビュー(第2回) 令和2年2月7日			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後の施工においては、「街なみ環境整備方針」及び「街なみ環境整備事業計画」に基づき、街なみ環境整備事業を推進する。

状況を示す写真や資料等



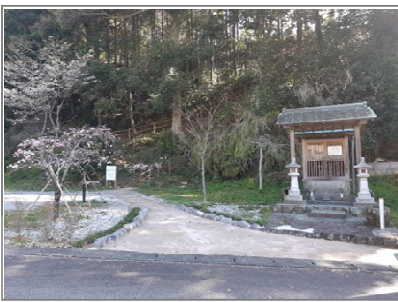
街なみ環境整備方針図



道路修景舗装 (前・後)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
蓮台寺温泉環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成28年度～令和2年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	蓮台寺温泉地区において、歴史あるまちなみに調和した空間の整備を図るため、道路修景舗装及び沿道への公園整備等を実施することにより、蓮台寺温泉地区の賑わいを取り戻し、温泉場らしい景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度より事業を実施し、平成30年度には、歴史あるまちなみの拠点となる天神公園の整備を行い、蓮台寺温泉を象徴する温泉を利用した手湯を設置した。令和元年度には、沿道への公園整備として枝垂れ桃の里公園を整備した。また、平成30年度に実施した湯めぐり企画(旅館日帰り入浴チケット販売)が、令和元年度では、地元組織の稲生沢地域まちづくり協議会主催で実施された。温泉旅館だけではなく、周辺施設への立寄りもあり、周遊性が高まる企画となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		点在している施設を活かすため、周遊企画を実施して、周遊性を高めていく。	
状況を示す写真や資料等			
  天神公園(前・後)   子育て地蔵広場(前・後)   しだれ桃の里公園(前・後)  湯めぐりイベント  			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
下田公園環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田公園の地形的条件や自然環境などの特質を活かして、下田公園からまちなみを一望できる施設や散策路などの整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
散策路における展望設備の改修を行った。アジサイ祭期を中心に市民や来訪者が下田公園を訪れた(令和元年度来訪者数154,200人)。直営で管理、定期的に清掃、伐採を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	周遊環境の向上とともに、施設の老朽化も進んでいるため、公園全体の計画策定が必要である。		

状況を示す写真や資料等



アジサイ祭・施設状況(1)



アジサイ祭・施設状況(2)



展望デッキ(更新)



維持管理

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
下田太鼓祭りプロモーション事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	首都圏等市外の都市において、下田太鼓祭りを様々な媒体を活用して魅力を発信、認知度をあげるプロモーションを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下田太鼓祭りをPRするため、下田太鼓祭りをメインとした「歴史まちづくりカード」を発行。旧澤村邸で配布を行い、1年間で11,870枚配布、認知度向上につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくりカード(表面)



歴史まちづくりカード(裏面)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
太鼓台整備助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成30年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 下田太鼓祭りの保全継承のために、祭りで使用する太鼓台の修理費等の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現在の助成制度について整理を行った。
 下田市景観まちづくり条例における「登録下田まち遺産制度」で助成ができ、上限は10万円である。ただし、認定まち遺産から、登録まち遺産となることが条件である。
 現在は、太鼓台修繕に宝くじ助成金を利用されている。

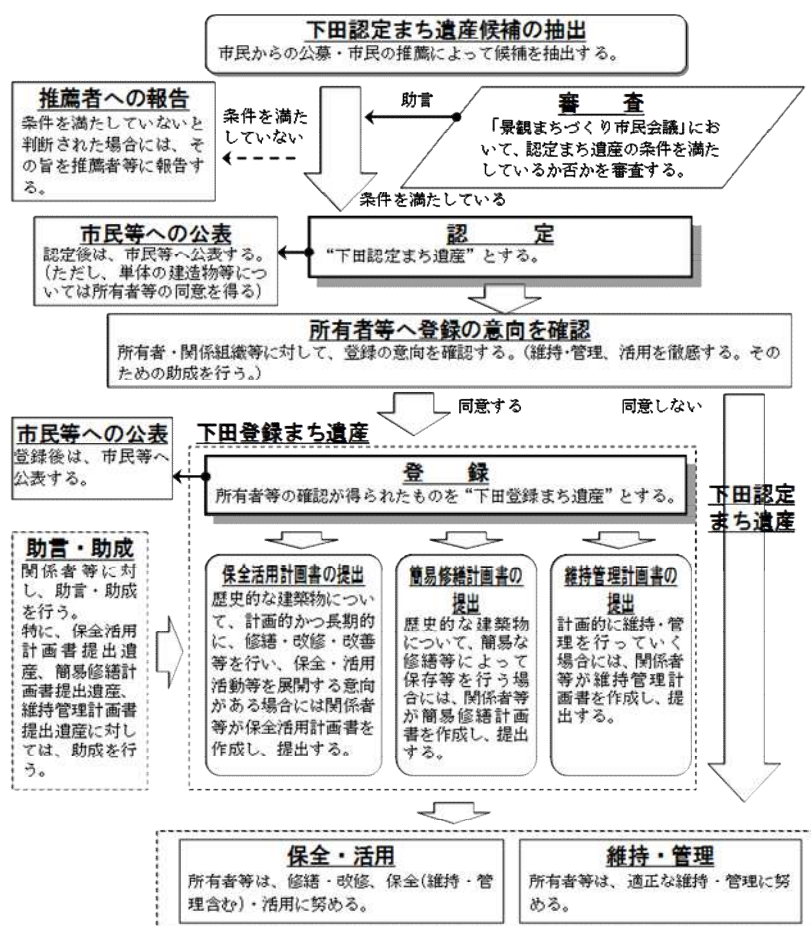
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

◆下田登録まち遺産となるまでの手順



◆下田登録まち遺産制度による助成の場合

③ 下田登録まち遺産
 (その他)
 維持管理計画書に
 基づく修繕・改修等

太鼓の修理
 衣装購入費等

維持管理に掛かる費用
 (1/2以内)
 上限10万円(単年度)
 毎年申請可

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
姉妹都市（ニューポート）交流事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	下田市との姉妹都市であるアメリカニューポート市との交流事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
「下田市ニューポート市交流中学生派遣事業補助金交付要綱」に則り、市内中学校の各校1名、計4名に対して、交通費や宿泊費等の補助を行い、ニューポート市へ訪問した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
ニューポート市訪問  ニューポートで始球式に参加  ベリー提督の墓前にて			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
下田市青年就農給付金給付事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成24年度～令和9年度		
支援事業名	静岡県農業次世代人材投資事業、市単独事業		
計画に記載している内容	新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで、生活費などの費用の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
条件として、5年という利用期間があり、令和元年度は、これまで利用していた人の利用も終了し、新規利用希望者もなかった。これまで給付を受けた方の就農は継続して行われた。 給付金給付:0件(令和元年度)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
天草漁業従事者育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業である天草漁業従事者の育成を図るため、後継者育成・確保のための事業費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光地エリア景観計画(本県の景観形成の指針である「ふじのくに景観形成計画」に基づき、地域の特性に応じてきめ細かく効果的な景観施策を推進するため市町が策定する計画)の策定に伴う、地域住民とのミーティングにおいて、地元住民から、若い後継者が育ってきている現状を聞き、更に天草漁をはじめとする漁業者の育成を求めていることを確認できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地元住民の漁業者育成に対する意向は確認できたため、今後は、漁業における現況調査のもと、漁業関係者との具体的な協議が必要である。		
状況を示す写真や資料等			



観光地エリア景観計画



策定のためのエリアミーティング



観光地エリア景観計画(施策) (ミーティング結果)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧下田町環境整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成30年度～令和4年度)、市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町において、市民や観光客の快適性を図るため、伊豆急下田駅周辺の再整備や散策エリアにおけるポケットパークといった休憩施設の設置等を進めることにより、賑わいを取り戻し、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度はポケットパークの整備計画を策定、令和元年度は、2件のポケットパークを整備して、ペリーロードと繋がり、散策空間を広げた。弁天橋ボードウォークでは、敷地内の電柱、電線を移設・集約して景観の向上を図った。また、平成30年度、令和元年度の2か年にわたり、静岡文化芸術大学大学院が下田市中心市街地活性化研究調査を行い、市街地活性化のためのモデル事業が提案された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		次に、伊豆急下田駅周辺地の再整備について進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
 ↓		 ↓	
 大工町プレイス(前・後)		 弁天橋ボードウォーク(前・後)	
			
モビリティ結節点整備案(レンタサイクル施設と商店会駐車場の乗り換え地点としての融合) (静岡文化芸術大学大学院／下田市中心市街地活性化研究調査)			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化資源回遊性向上事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧下田町地区や蓮台寺温泉地区に残されている歴史・文化資源を活かすため、散策コースの設定やマップ作成、あるいは外国人にも対応する案内サインなどの整備やウォーキングイベント等の開催により、地区内で回遊を生み出し、賑わい創出に繋げ、観光振興を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、地域住民11団体と、旧下田町地区のまち歩きコースのマップを作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		マップを多くの人に見てもらうため、成果の整理と公表が必要である。	

状況を示す写真や資料等



伝四郎チーム(今村伝四郎の会)



はまゆうチーム(レクダンスグループ)



高校生・大学生チーム

歴史チーム
(下田城の保存を推進する会・下岡蓮杖の会)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
郷土学習総合推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の素晴らしさを伝えるため、市民の生涯学習や市内小中学生の総合学習において、郷土の歴史・文化に関する学習機会を提供する。また、歴史的建造物や活動を支える職人に対して、有識者を招いて、歴史文化資源の貴重性などについての講義等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内小学校などへ出前講座に出向き、地域の歴史的な資源の大切さなどについて講義を行い、歴史・文化の継承を行った。 また、日本大学との共同研究において、まちの魅力再発見を目的に、郷土史家を含む市民の方たちと、まち歩きルートを作成、歴史あるまちの良さを再認識した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



出前講座(下田小学校)
令和元年10月23日
(小学校2回開催)



出前講座(相玉老人会)
令和元年8月29日
(自治会4回開催)



まち歩きルート作成(現地点検、ワークショップ)
(令和元年10月27日)

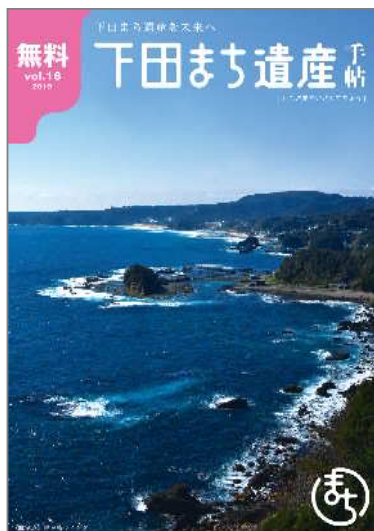


評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
下田市歴史文化情報発信推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内外へ、歴史的風致に関する情報の周知を図るために、歴史的風致維持向上計画の公表と併せ、下田市広報、ホームページ、下田まち遺産手帖等で、歴史文化の情報発信を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
下田まち遺産手帖に、下田市歴史的風致維持向上計画の概要を掲載した。広報しもだには、歴史的風致となっている黒船祭や津島神社例大祭が掲載された。また、無料休憩施設「旧澤村邸」で「下田市歴史的風致維持向上計画概要版」の配布を行い、市内外の人に歴史まちづくりを発信した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



下田まち遺産手帖(計画の概要を掲載)(市内118箇所のコンビニやドラッグストア、飲食店等で配布)

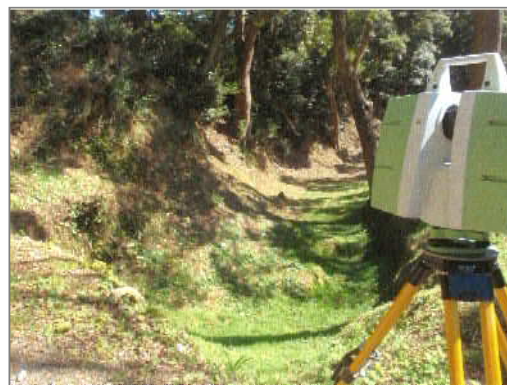
令和元年度 広報しもだ6月号
黒船祭令和元年度 広報しもだ8月号
津島神社例大祭

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財調査、保存管理（活用）		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	国指定文化財7件、県指定文化財10件、市指定文化財56件、合計73件の有形・無形の指定文化財が存在している。国・県・市指定文化財は、文化財保護法、静岡県文化財保護条例、下田市文化財保護条例のほか、関連法令に基づき保存、活用していく。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
風化が進む、市指定史跡下田城址（下田公園内）の、天守台と呼ばれる中心部分の曲輪や空堀等の形状を記録するため、三次元測量を行った。 県指定史跡吉田松陰寓寄処では、修繕に向けて文化財保存費補助金を活用して今後の修理・活用に向けた買い上げを行った。また、玉泉寺では、災害によって崩れた法面崩落防止工と階段改修工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		下田城址三次元測量の下田公園内での活用については、下田公園環境整備事業と連携をとり公園全体の計画への反映が必要である。	

状況を示す写真や資料等



下田城址（下田公園）三次元測量



国指定文化財「玉泉寺」（法面崩落防止工及び階段工）（前・後）

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理は、歴史の真正性を担保するため、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本とする。 文化財の周辺環境は、その文化財の魅力に強い影響力を持つ。よって、文化財の保存及び活用を図る上で、その文化財単体のみ措置を講じるのではなく、その周辺環境と一体的な措置を講じ、文化財の魅力を高める。 火災が発生した際の迅速な消火体制の確保や対応力を高めるため、平素から防火教育や訓練に取り組むことで、文化財の滅失する危険性を除外・低下させていく。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
県指定史跡「吉田松陰寓寄処」と、その周辺を一体的に周遊してもらうため、寓寄処への誘導看板設置（3箇所）と、周遊のための案内看板（1箇所）を設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 吉田松陰寓寄処誘導看板			
 蓮台寺温泉周遊看板（拡大）			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
文化財の普及・啓発、団体との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市内外の人々を対象として実施する普及・啓発としては、文化財の価値や貴重さを伝えるために、各指定文化財の統一的な案内看板の設置や、文化財パンフレット等を作成し配布するとともに、ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催を行っていく。 また、活動団体と連携して保存・活用を図るため、官民協働により担い手育成の支援や、必要な助言・指導などを継続的に行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
中学生以上を対象に、南豆、特に下田の歴史について再認識してもらうことを目的とした講座を全5回、1年にわたって開催した。講師を地元研究者に行き渡ることによって専門性を高めた。 また、県指定史跡「吉田松陰寓居処」では、施設管理人から施設説明を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 下田市教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」 (令和元年9月15日)  下田市教育委員会連続講座「南豆の歴史を後世に」 (令和元年12月1日)  管理人による説明(吉田松陰寓居処にて) (令和元年12月12日)			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
国が歴史的風致計画認定 支援受け町づくり推進	平成30年11月14日	伊豆新聞	
歴史的風致計画で認定証	平成30年11月14日	静岡新聞	
温泉案内看板を一新 蓮台寺入口源泉かけ流しなどPR	平成31年1月10日	伊豆新聞	
「歴史まちづくりカード」きょうから無料配布	平成31年3月1日	伊豆新聞	
しだれ桃花期に「湯・花巡り」 ”お得な入浴”楽しむ	平成31年3月24日	伊豆新聞	
市道カラー舗装完了 稲生沢地区あずまやなど再整備進む	令和元年7月24日	伊豆新聞	
豊かな自然と歴史を活かした下田のまちづくり	令和元年10月1日	全国市長会機関誌「市政」	
36人が「下田っ子マップ」づくり 市民目線で新たな魅力発見	令和元年10月29日	伊豆新聞	
下田・周遊環境整備 旧町内に小公園完成	令和元年11月14日	伊豆新聞	
「弁天橋ボードウォーク」完成 市街地周遊へ整備	令和2年3月30日	伊豆新聞	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
ハード及びソフトの各種事業が新聞などに掲載されたことで、歴史まちづくりの宣伝につながった。特に、事業1件ごと掲載されたことにより、進捗状況や今後の流れが周知できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
著作権保護のため、新聞記事は掲載しておりません。			

項目

歴史文化、まちに対する再認識

計画に記載している内容 固有の歴史文化資産が織り成す「歴史的風致」を守り育て、未来へ引き継ぐべく、下田の個性を磨き、魅力を高め、市民に根付いていなかった下田の歴史文化を再認識して一層の誇りと愛着を持って継承し、また、美しく風格ある都市を創生し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民の方々と、まち歩きルートを考えるワークショップ前後で、アンケートを行った。ワークショップを経て、地区に対する認識の変化をまとめた。下田に対する愛着が、ワークショップ前の平均点は75点であったが、ワークショップ後の平均点は82.7点であった。ワークショップを体験したことで下田に対する愛着は一人7.7点増加した。特に、建築・まちなみ、歴史・史跡において、下田の良さを再認識されたという結果になった。

進捗状況 ※計画年次との対応

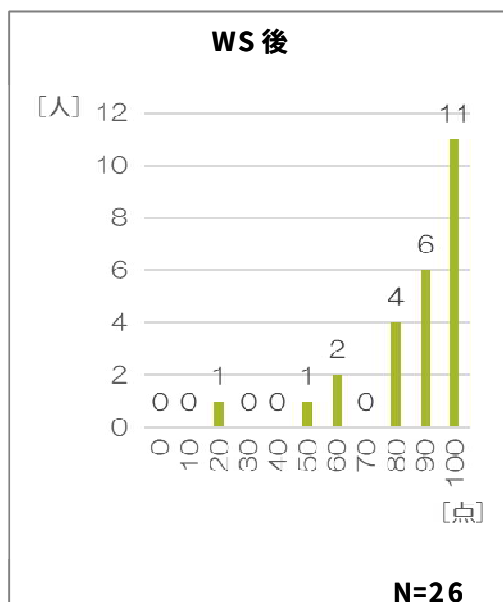
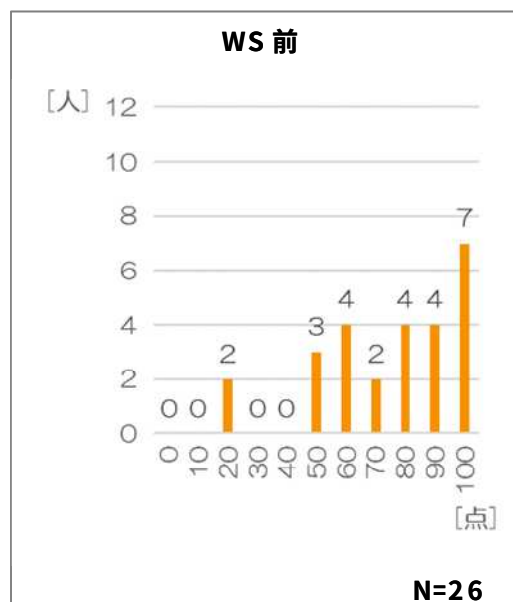
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

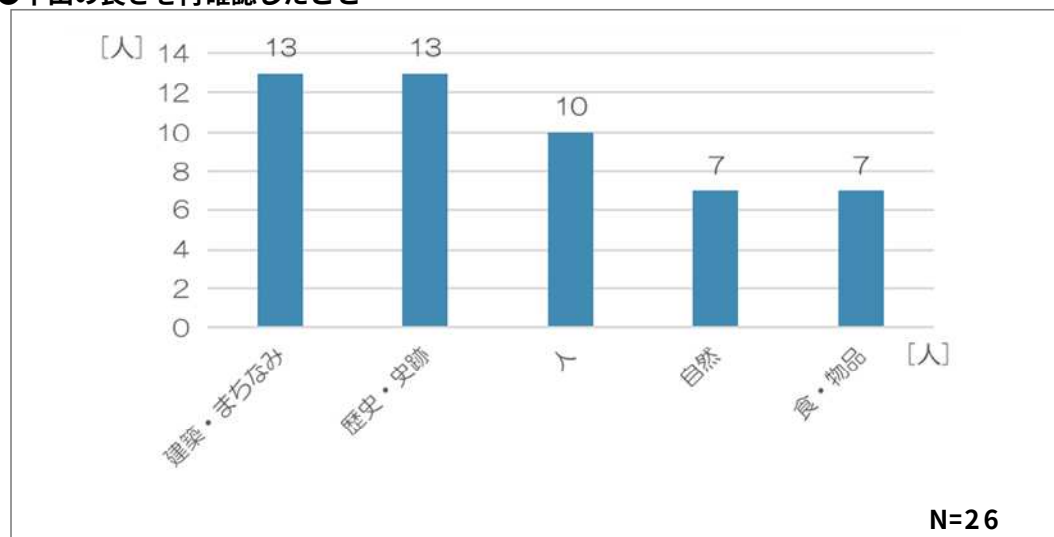
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

●下田に対する愛着の変化



●下田の良さを再確認したこと



項目

地域の活性化と観光振興

固有の歴史文化資産が織り成す「歴史的風致」を守り育て、未来へ引き継ぐべく、下田の個性を磨き、魅力を高め、市民に根付いていなかった下田の歴史文化を再認識して一層の誇りと愛着を持って継承し、また、美しく風格ある都市を創生し、訪れる人々に感動を与えられるようなまちづくりを行い、地域の活性化や観光振興につなげていくことが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

重点区域内の来訪者数の推移を、ペリーロードに位置する旧澤村邸入館者数の推移からみる。平成27年度をピークに減少傾向にあったが、平成29年度から微増に転向している(令和元年度末は社会情勢の状況を鑑みて休館)。また、重点区域内にある観光案内所の外国人訪問者数は、一時落ち込みはあったものの年々増加しており(平成26年度からは体験総合案内所含む)、歴史まちづくりが地域の活性化と観光振興に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

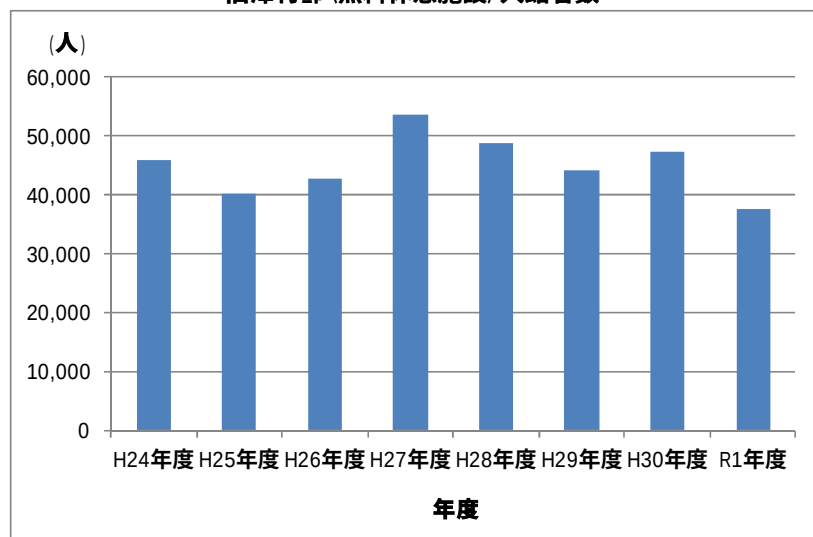
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐ 計画の進捗に影響あり

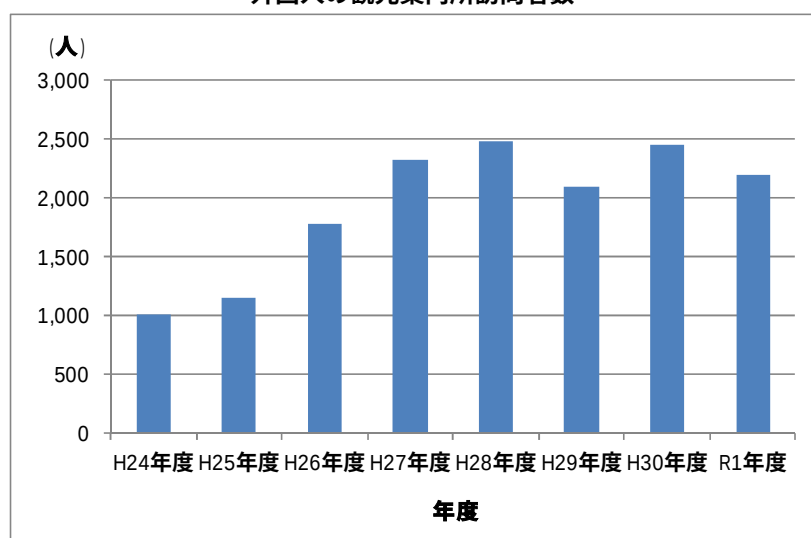
☒ 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

旧澤村邸(無料休憩施設)入館者数



外国人の観光案内所訪問者数



評価対象年度	令和元年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 下田市歴史的風致維持向上協議会 (書面会議)	
会議等の開催日時: 令和2年5月11日～令和2年5月29日 (意見聴取期間)	
(コメントの概要) 【歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】 評価軸③－1 下田市歴史的風致形成建造物保存整備事業 ・指定建造物の詳細な実測や建築的調査により、記録として保存、後世に残していくことが重要である。加えて保存の担い手 (技術者) や材料 (パーツ) の確保は最重要課題である。 評価軸③－3 玉泉寺周辺整備事業 ・賑わい良好な街なみとは何かを検討することが必要。観光地エリア景観計画 (ふじのくに景観形成計画に基づくもので、地域で目指すべき姿に向けた具体施策を示す計画) を作成したらどうだろうか。 評価軸③－5 旧下田町道路美装化事業 ・既に整備されたところは、相当イメージアップになっており、整備効果は高いと考えられる。今後はポケットパークと連携した活用が課題となる。 評価軸③－7 下田公園環境整備事業 ・下田公園という名称は我々旧町内で生まれ育った人間には愛着やなじみがなく、城山公園もしくは下田城址の名称で歴史を反映すべきと考える。 評価軸③－8 下田太鼓祭りプロモーション事業 ・市外の都市でのプロモーション活動、メディア (テレビ、雑誌、インターネットなど) への露出のため、祭りの歴史、祭り全体の流れや道具等の説明、実際の祭風景をプロモートした正式なPVをつくったらどうだろうか。 評価軸③－9 太鼓台整備助成事業 ・助成の上限10万円は少なすぎる。助成のみならず、修復・再現できるように設計図面・修復過程の映像保存等、資料のデジタル化が急務。修理できる技能者も少なく、養成が必要。 評価軸③－10 姉妹都市 (ニューポート) 交流事業 ・下田市内 (できれば港に面した場所) にニューポートヴィレッジ (ゲストハウス・情報発信・売店・食堂) を常設して、黒船祭以外に通年の本格的な文化交流を。 【文化財の保存又は活用に関する事項】 評価軸④－2 文化財の修理・周辺環境整備、防災訓練 ・文化財の防災に関して極めて重要な内容なため、実施を充実させてほしい。 評価軸④－3 文化財の普及・啓発、団体との連携 ・講座を実施しているが参加者が高齢者が多いため、今後年齢の若い方にどう参加していただけるか検討する必要がある。 評価軸⑤－1 効果・影響等に関する報道 ・文化財の保存・活用に関する事業など、市民への広報を継続的にしたほうがよい。	
(今後の対応方針) ・今回のご意見を踏まえながら、計画期間内における事業の全体計画を提示する。 ・市民の方などへの、計画や事業に対する情報発信を積極的に行う。	